

「STマーク」ってなに？

中国製玩具が基準を超える鉛を含んでいたことから、相次ぐおもちゃの自主回収が報道されています。鉛は、赤ちゃんが舐めたり、濡れた手で触れたりすると、体内に吸収されて脳発達障害を引き起こすことから、厳しい基準値が決められています。

おもちゃの業界団体である日本玩具協会では、おもちゃによる危険から赤ちゃんを守るために、安全基準を設けて検査し、合格した製品に対して「ST (Safety toy=安全玩具) マーク」を与え、安心して使用できるおもちゃであることを表示しています。

おもちゃの形状や強度に関する検査として、おもちゃの先端が鋭くないかどうか、子どもの喉を詰まらせるようなサイズのものでないかがテストされています。可燃性の検査、おもちゃの材料に有害な化学物質が使われていないかを調べる検査なども行われています。

とはいえ、小さな子どもたちのまわりに、おもちゃ以外にも子どもが手にとって遊びたいものや、口に入れてしまいそうなものはありませんか？ 今一度点検してみてください。